

分析試験成績書

第506040241-001号
2006年(平成18年)04月20日

依頼者 株式会社 エイ・シー・エム

検体名 ACM元ウォーター活水器 通過水

財団法人

日本食品分析センター

東京本部 〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町52番1号
 大阪支所 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町3番1号
 名古屋支所 〒460-0011 名古屋市中区大須4丁目5番13号
 九州支所 〒812-0034 福岡市博多区下呉服町1番12号
 多摩研究所 〒206-0025 東京都多摩市永山6丁目11番10号
 千歳研究所 〒066-0052 北海道千歳市文京2丁目3番

2006年(平成18年)04月10日当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

分析試験結果

分析試験項目	結果	検出限界	注	方法
一般細菌	30以下/ml		1	標準寒天培地法
大腸菌	検出せず		1	特定酵素基質培地法

注1. 水質基準に関する省令の規定に基づき厚生労働大臣が定める方法(平成15年厚生労働省告示第261号)によった。

以上

分析試験成績書

第506030952-004号
2006年(平成18年)04月13日

依頼者 株式会社 エイ・シー・エム

検体名 ACMπウォーター活水器 通過水

財団法人

日本食品分析センター

東京本部 〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町52番1号
 大阪支所 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町3番1号
 名古屋支所 〒460-0011 名古屋市中区大須4丁目5番13号
 九州支所 〒812-0034 福岡市博多区下呉服町1番12号
 多摩研究所 〒206-0025 東京都多摩市永山6丁目11番10号
 千歳研究所 〒066-0052 北海道千歳市文京2丁目3番

2006年(平成18年)03月30日当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

分析試験結果

分析試験項目	結果	検出限界	注	方法
鉄及びその化合物	検出せず	0.03 mg/L	1	誘導結合プラズマ発光分光分析法
銅及びその化合物	検出せず	0.01 mg/L	1	誘導結合プラズマ発光分光分析法
ナトリウム及びその化合物	19 mg/L		1	誘導結合プラズマ発光分光分析法
マンガン及びその化合物	検出せず	0.005 mg/L	1	誘導結合プラズマ発光分光分析法
塩化物イオン	27 mg/L		1	イオンクロマトグラフ法
カルシウム、マグネシウム等(硬度)	62 mg/L		1	滴定法
蒸発残留物	150 mg/L		1	重量法
陰イオン界面活性剤	検出せず	0.02 mg/L	1	流路型吸光光度法
ジェオスミン	検出せず	0.000002 mg/L	2	
2-メチルイソボルネオール	検出せず	0.000002 mg/L	2	
非イオン界面活性剤	検出せず	0.005 mg/L	1	固相抽出-吸光光度法
フェノール類	検出せず	0.005 mg/L	1	流路型吸光光度法
有機物(全有機炭素(TOC)の量)	0.9 mg/L		1	全有機炭素計測定法
pH値	7.4(16℃)		1	ガラス電極法
味	異常なし		1	官能法
臭気	異常なし		1	官能法
色度	1度以下		1	比色法
濁度	1度以下		1	比濁法

注1. 水質基準に関する省令の規定に基づき厚生労働大臣が定める方法(平成15年厚生労働省告示第261号)によった。

注2. 水質基準に関する省令の規定に基づき厚生労働大臣が定める方法(平成15年厚生労働省告示第261号)によった。方法:パージ・トラップ-ガスクロマトグラフ質量分析法

以上

本成績書を他に掲載するときは当センターの承認を受けて下さい。

分析試験成績書

第506030952-003号
2006年(平成18年)04月13日

依頼者 株式会社 エイ・シー・エム

検体名 ACM元ウォーター活水器 通過水

財団法人

日本食品分析センター

東京本部 〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町52番1号
 大阪支所 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町3番1号
 名古屋支所 〒460-0011 名古屋市中区大須4丁目5番13号
 九州支所 〒812-0034 福岡市博多区下呉服町1番12号
 多摩研究所 〒206-0025 東京都多摩市永山6丁目11番10号
 千歳研究所 〒066-0052 北海道千歳市文京2丁目3番

2006年(平成18年)03月30日当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

分析試験結果

分析試験項目	結果	検出限界	注	方法
トリクロエチレン	検出せず	0.001 mg/L	1	溶媒抽出-ガスクロマトグラフ-質量分析法
ベンゼン	検出せず	0.001 mg/L	1	
クロ酢酸	検出せず	0.01 mg/L	2	
クロホルム	検出せず	0.001 mg/L	1	溶媒抽出-ガスクロマトグラフ-質量分析法
ジクロ酢酸	検出せず	0.004 mg/L	2	
ジブromクロロタン	検出せず	0.001 mg/L	1	イソクロマトグラフ-ホストグラム 吸光光度法
臭素酸	検出せず	0.001 mg/L	2	
総トリハロタン(クロホルム, ジブromクロロタン, ブromジクロロタン及びブromホルムのそれ ぞれの濃度の総和)	検出せず	0.001 mg/L	1	
トリクロ酢酸	検出せず	0.02 mg/L	2	溶媒抽出-ガスクロマトグラフ-質量分析法
ブromジクロロタン	検出せず	0.001 mg/L	1	
ブromホルム	検出せず	0.001 mg/L	1	
ホルムアルデヒド	0.005 mg/L		3	
亜鉛及びその化合物	検出せず	0.005 mg/L	2	誘導結合プラズマ発光分光分析法
アルミニウム及びその化合物	0.02 mg/L		2	誘導結合プラズマ発光分光分析法

注1. 水質基準に関する省令の規定に基づき厚生労働大臣が定める方法(平成15年厚生労働省告示第261号)によった。方法:ハ-ジ・トラップ-ガスクロマトグラフ-質量分析法

注2. 水質基準に関する省令の規定に基づき厚生労働大臣が定める方法(平成15年厚生労働省告示第261号)によった。

注3. 水質基準に関する省令の規定に基づき厚生労働大臣が定める方法(平成15年厚生労働省告示第261号)によった。方法:溶媒抽出-誘導体化-ガスクロマトグラフ-質量分析法

以上

本成績書を他に掲載するときは当センターの承認を受けて下さい。

分析試験成績書

第506030952-002号
2006年(平成18年)04月13日

依頼者 株式会社 エイ・シー・エム

検体名 ACM元ウォーター活水器 通過水

財団法人

日本食品分析センター

東京本部 〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町52番1号
大阪支所 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町3番1号
名古屋支所 〒460-0011 名古屋市中区大須4丁目5番13号
九州支所 〒812-0034 福岡市博多区下呉服町1番12号
多摩研究所 〒206-0025 東京都多摩市永山6丁目11番10号
千歳研究所 〒066-0052 北海道千歳市文京2丁目3番

2006年(平成18年)03月30日当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

分析試験結果

分析試験項目	結果	検出限界	注	方法
カドミウム及びその化合物	検出せず	0.001 mg/L	1	誘導結合プラズマ発光分光分析法
水銀及びその化合物	検出せず	0.0001 mg/L	1	還元酸化-原子吸光光度法
セレン及びその化合物	検出せず	0.001 mg/L	1	水素化物発生-原子吸光光度法
鉛及びその化合物	検出せず	0.001 mg/L	1	誘導結合プラズマ質量分析法
ヒ素及びその化合物	検出せず	0.001 mg/L	1	水素化物発生-原子吸光光度法
六価クロム化合物	検出せず	0.005 mg/L	1	誘導結合プラズマ発光分光分析法
シアン化物イオン及び塩化シアン	検出せず	0.001 mg/L	1	流路型吸光光度法
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	1.9 mg/L		1	イオンクロマトグラフ法
フッ素及びその化合物	0.14 mg/L		1	イオンクロマトグラフ法
砒素及びその化合物	検出せず	0.1 mg/L	1	誘導結合プラズマ発光分光分析法
四塩化炭素	検出せず	0.0002 mg/L	2	
1,4-ジオキサン	検出せず	0.005 mg/L	1	固相抽出-ガスクロマトグラフ-質量分析法
1,1-ジクロロエチレン	検出せず	0.001 mg/L	2	
シス-1,2-ジクロロエチレン	検出せず	0.001 mg/L	2	
ジクロロメタン	検出せず	0.001 mg/L	2	
テトラクロロエチレン	検出せず	0.001 mg/L	2	

注1. 水質基準に関する省令の規定に基づき厚生労働大臣が定める方法(平成15年厚生労働省告示第261号)によった。

注2. 水質基準に関する省令の規定に基づき厚生労働大臣が定める方法(平成15年厚生労働省告示第261号)によった。方法:パージ・トラップ-ガスクロマトグラフ-質量分析法

以上

本成績書を他に掲載するときは当センターの承認を受けて下さい。